

上海レポート

令和4年10月号

Vol. 26



公益財団法人 大阪産業局上海代表処 (大阪府上海事務所)

中国上海市延安西路 2201 上海国際貿易中心 408室 200336 Email osaka@ibo-sh.com.cn
TEL 86-21-6270-1901 FAX 86-21-6270-1351 http://osaka-sh.com.cn

20221010 号	国慶節とコロナ感染	所長 南浦秀史
20221017 号	中国では今、キャンプ市場に追い風が吹いている	秘書 孫芸
20221024 号	上海を走る自動車について	副所長 土佐憲弘
20221031 号	福州路の外文書店	副所長 小森亮人

国慶節とコロナ感染

10月1日は中国の建国記念日で、7日までの一週間は、国慶節という大型連休です。例年なら気候のいい秋の季節なので旅行に行く人が多いのですが、今年はコロナの影響で低調に終わったようです。政府の発表によると全国で旅行に出かけた人は4億2200万人、昨年比18.7%の減少、コロナ前の2019年との比較では60.7%の減、収入は2872億1000万元で、昨年比26.2%の減、2019年とは44.2%の減でした。

人が動くと当然のようにコロナ感染も拡大するようです。今朝(10月10日)の上海市政府発表によると昨日の24時間で判明した感染者数は、コロナ感染症確定症例が3例、無症状感染者が31例です。これに伴い、上海市内の高リスク指定地域が1か所、中リスク地域が33か所となりました。自治体事務所の職員が住むマンションも2日間の封鎖になったところがあるようです。

また、陽性者や濃厚接触者が出入りしたり立ち寄りしたりしたところは、ビッグデータの活用により、高い精度で特定されます。駐在員がよく利用する職場近くの日系スーパーも本日から1週間営業停止になったそうです。感染が拡大している地区の映画館などの娯楽施設も1週間の営業停止になりました。

これからさらに寒くなって空気が乾燥すると、感染しやすくなってきます。今のうちに食料や日用品などの備蓄を確認し、不測の事態に備えたいと思います。



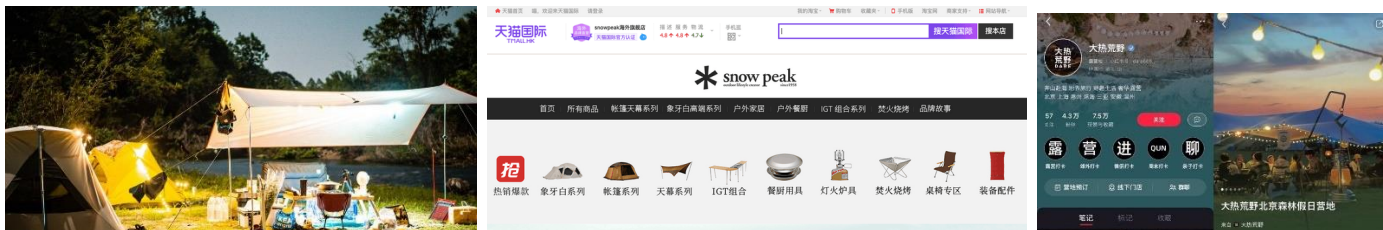
中国では今、キャンプ市場に追い風が吹いている

国慶節は10月1(土)に始まり7日(金)に終了しました。ゼロコロナ政策の影響で近郊へのキャンプは最も人気が高く、中国の大手旅行予約サイト「シートリップ」のデータによると、国慶節の期間中に、郊外キャンプツアーの予約が前年同期比で10倍以上となったそうです。そのうち、地元での予約が80%近くを占め、市外周辺での予約数が15%。親子連れの客層が全体の3割以上、そのうち83%の利用者がオーバーナイトのキャンプ商品を選びました。一人当たりのキャンプ費用は約650元(約1万3000円)で、今年の中秋節の3連休に比べて約30%増となりました。

いくつかのECサイトを検索してみると、国慶節期間中にアウトドア用品などの売上が急増したことがわかりました。キャンプ関連グッズの売上は昨年と比べて215%増加し、携帯用バーベキューグリル、蚊取り線香、ピクニックマット、折りたたみテーブルと椅子、寝袋や日差し・雨対策のタープ、ランプ、収納ボックスなどが最も売れているグッズとなりました。テント・マットが前年比72%増、ピクニック用品が前年比77%増となりました。

アリババ傘下のEC(電子商取引)大手「T-mall(天猫)」のデータによると、過去3年間、アウトドアスポーツ市場におけるオンラインキャンプ用品の売上は年々増加し、中国ブランドの市場シェアが80%以上を占め、新しいブランドがどんどん市場に進出しています。

また、会社信用調査のアプリ「天眼查」のデータによると(社名や事業範囲に)「キャンプ」が含まれる企業は47000社、その中で半数近くが1年以内に設立され、今年に入ってから、7200社以上のキャンプ関連企業が設立されました。中国におけるキャンプ関連事業社の登録社数は急増しています。中国のキャンプブームが今後どのように発展していくか、目が離せません。



上海を走る自動車について

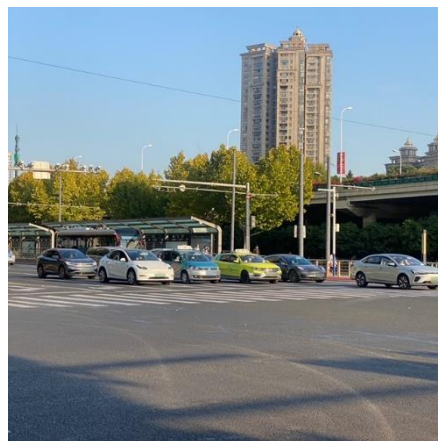
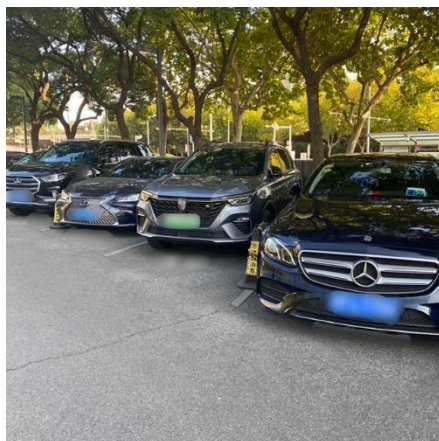
上海で驚くことの一つに道路を走る乗用車のメーカーの種類の豊富さがあります。海外メーカーではトヨタ、ホンダ、日産等の日本車や、日本でも馴染みのメルセデス・ベンツ、BMW、AUDI等の欧州車、ヒュンダイやKIA等の韓国車、日本では見かけないビュイック等のアメリカ車と様々です。

中国のメーカーも多くあり、上海汽車(SAIC)、上海第一汽車(FAW)、比亞迪(BYD)等多様ですが、電動自動車をラインナップとする上海蔚来汽車(NIO)、小鹏汽車(Xpeng)等の車もよく目にします。

上海では乗用車を購入する際、ガソリン車では車体とは別にナンバープレートを購入する必要があります。これは増加する自動車による大気汚染や交通渋滞を緩和させるため、政府がナンバープレートの発行を抑制しているためです。

このナンバープレートは、ガソリン車なら青色、新エネルギー車と呼ばれる電動自動車(EV、プラグイン・ハイブリッド、FCV)なら緑色と色分けされており、ナンバープレートの色で使用する動力を判別することができます。

また、電動自動車普及のため緑色のナンバープレートはオークションを経ずに発行されており、政府による優遇措置が実施されています。



福州路の外文書店

上海と聞いてまず思い浮かぶ外灘と、そこに続く歩行者天国の南京東路は上海随一の繁華街として人通りの絶えないエリアですが、そこから南に5分ほど歩いた福州路には歩行者天国の喧騒とは対照的にどこか落ち着いた空気が流れており、その中に海外の書籍を中心に扱う上海外文書店があります。

書店が入る建物は1931年に設計された元オフィスビルで、現在は7階建の内1-4階にいくつかの専門書店が入居しています。1階は欧米諸国の書籍、2階は中国語の外国語教材、3階には世界各国の美術、建築の専門書を扱う書店が入っており、4階には英語の児童書店に加えて日系の書店、ゲーム・アニメグッズの専門店が店舗を構えています。

英字系の書店では平積みのパーパーバックが異国情緒を醸し出す一方、4階の日系店舗は日本のサブカルチャーが強く打ち出されており、日本語の漫画やイラスト集、キャラクターグッズなどが数多く販売されています。商品を手にするお客さんにもアニメ文化を意識した格好の方も多く、10月上旬の国慶節中に訪れた際はキャラクターグッズを身につけ買い物を楽しむ多くの人たちで賑わっていました。

欧米系の書籍についても幅広いジャンルが取り扱われており、国際都市上海の片鱗を垣間見たように思います。福州路にはこの他にも現地の大型書店や画材店、文具店、印刷屋などが集まっており、華やかな外灘のイメージとはまた違った、少しノスタルジックな上海らしさがあるかも知れません。とはいえそんな中でも配食サービスの電動バイクは走り回り、周辺の小さな食堂でも電子決済がごく当たり前の支払い手段となっています。私たち外国人が思う上海らしさも目まぐるしく更新されているようです。

